

この演習のねらい：実際にこれまで使ってきたシステムとは別のシステムを使うことにより、システム間によってやり方が異なることを体験する。

NDL-OPAC(雑誌記事索引) <http://opac.ndl.go.jp/> の「雑誌記事索引の検索/申し込み」のサイトを Internet Explorer で開き、以下演習を行いなさい。

基本的な使い方：

同じ項目内での論理積(AND):右メニューで「AND」を選んで空白で区切って入力するか、「演算子」を選んで「&」を使う(例:「教育 & 英語」)。同じ項目内での論理和(OR):右メニューで「OR」を選んで空白で区切って入力するか、「演算子」を選んで「+」を使う(例:「教育 + 英語」)。同じ項目内での論理差(NOT): 右メニューで「演算子」を選んで「!」を使う(例:「教育! 英語」)。項目間の論理積(AND)は、「項目間を」というメニューで「AND 条件で結ぶ」を選び、論理和(OR)は、「項目間を」というメニューで「OR 条件で結ぶ」を選ぶ。項目間の論理差(NOT)検索はない。トランケーションは一致指定文字「/」を使う。前方一致検索 「/あ」 ←「あ」で始まるものがヒット。後方一致検索 「あ/」 ←「あ」で終わるものがヒット。

(「2005年～」にのみチェックがある状態で検索すること)

1. 論文のタイトルに「eラーニング」を含む論文、もしくは「e-learning」を含む論文が欲しい。  
( )のクエリボックスに( )  
を入力し、その横のメニューは( )を選んで検索する。ヒット件数は( )件になる。このように、同義語を検索したい場合は論理( )を使った検索という。
2. 論文のタイトルに「生涯教育」と「図書館」の両方を含むものを検索したい。  
( )のクエリボックスに( )  
を入力し、その横のメニューは( )を選んで検索する。ヒットする件数は( )件となる。このような検索を論理( )を使った検索という。
3. 著者に「江草由佳」を含み、「高久雅生」を含まない論文を検索したい。( )のクエリボックスに( )  
を入力し、その横のメニューは( )を選んで検索する。ヒット件数は( )件である。このような検索は論理( )を使った検索という。
4. 掲載雑誌名が「世界」でおわる雑誌に収録されている論文を検索しなさい。  
雑誌名のクエリボックスに( )  
を入力して検索する。ヒットした件数は( )件である。このような検索をトランケーションの( )一致を使った検索と呼ぶ。
5. 著者が「江草」から始まる論文を検索する。  
著者のクエリボックスに( )  
を入力して検索する。ヒットした件数は( )件である。このような検索をトランケーションの( )一致を使った検索と呼ぶ。